

1. 評価結果概要表

平成 20年 7月 7日

【評価実施概要】

事業所番号	2072501097
法人名	特定非営利活動法人わだの家
事業所名	グループホームわだの家
所在地	長野県飯田市南信濃和田518-1 (電話) 0260-34-5405

評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成20年6月28日	評価確定日	平成20年7月20日

【情報提供票より】(20年 5月 1日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤5人	非常勤5人 常勤換算7.7人

(2) 建物概要

建物構造	木造
	1 階建ての 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,200 円	その他の経費(月額)	20,100 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要 (5月 1日 現在)

利用者人数	8 名	男性	1 名	女性	7 名	
要介護1	1名	要介護2	1名			
要介護3	3名	要介護4	2名			
要介護5	1名	要支援2				
年齢	平均	85 歳	最低	81 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	県立阿南病院、片町医院、山崎医院、小澤歯科医院、村澤屋歯科院
---------	--------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住み慣れた地域で安心して暮していただきたいと、「グループホームわだの家」が設立された。住宅街の中にホームはあり、周辺は四季折々の草花が咲き、居室の窓を開ければ緑のそよ風にホッとする居心地の良い環境となっている。法人の「お年寄は社会の進展に寄与して来た人、豊富な知識と経験を…」と言う理念の基に職員一同が、利用者との生活を送っている。近隣の住民との関係も良好で、ホームの行事に招待して共に楽しんだり、遊びに行ったりして交流している。また、河川掃除やお祭りへの参加など地域との付き合いに努め、ともに暮す地域の一員として、1軒の家という役割を担っている。職員は常に利用者一人ひとりの思いを大切にされ、自立に向けた支援に心掛けている。開設4年を迎え、グループホームの共用スペース等を活用した認知症対応型通所介護も開始し、今後更に地域において、ホームの役割が期待されている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価結果は、理事長・管理者・職員全員で改善に取り組んでいる。書類もきちんと整備され利用者のケアの質の向上に繋がっていることが、良いチームワークを醸し出して、利用者が安心して暮すことが出来るホームになりつつある。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	2回目の外部評価である。前回外部評価を受審したことで、職員のサービスに対する意識に変化があり、評価過程の大切さを理解できた。外部評価の狙い等を理事長から職員に伝え、理解を得た上で自己評価を全職員で取り組み、項目一つひとつを点検し、評価結果については、理事長始め全職員の方で、サービスの質の確保に活かしているという姿勢がある。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、活動内容や話し合いを通じて委員からの意見、要望をもらっている。運営推進会議を通じて、消防自治組織を作っていくことなどが検討され、更に地域住民の理解を広げる活動と共に、サービスの向上に役立っている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族への対応は、ホームへの来訪時に積極的にされている。毎月の家族への便りでは、ケアプランについて経過報告が行なわれており、3ヶ月に1回の見直しも利用者、家族等と話し合い、その内容をケア会議、職員会議等を通じて全職員に周知し共有して、安心の運営提供に努めている。今年度は、家族に対してのアンケート調査を行い、意見や家族の思いを理解して運営に活かす努力をされている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホームと地域が支えあえる方向で、職員と地域の人達との連携が取れていて、ホームは一軒の家として存在感がある。敬老会等の地域行事の誘いもあり、又毎日ご近所の方々の訪問があり、収穫された野菜のお裾分けがあったり、利用者がご近所へお茶飲みにお呼ばれを頂いている。地元の婦人会や中学生のボランティア活動の受入れもを行い、利用者の持っているエンパワーメントを上手く引き出す努力を行っている。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域に密着したサービスを提供しようと、職員全員で考え作り上げた理念、「地域の中でその人らしく暮らし続けること」が盛り込まれ、実践されている。ホーム内にも掲示され、案内パンフレットにも明記されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	4月の職員会において、理念について話し合いを持ち具体的に確認しあった。毎月の定例会だけでなく、日頃から自分たちの言動を振り返り、利用者が今まで培ってきた生活を支えるため、理事長と管理者、職員は自分たちの言葉で見直し意識的に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所自体が地域の一員として、井水の管理、お祭り等地域の行事にも積極的に参加し、地区の中学生のボランティア活動、近所からお茶飲みのお誘いがあったり等地域性を活かして利用者とその家と地域の人達との付き合いがある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価結果を、全職員で検討し、職員の意識合わせ、ケアの振り返り見直し等の改善が可能となった。今回も自己評価を全職員で行い、外部評価の結果を積極的に取り組み、サービスの質の確保に活かそうと努力している。		

グループホームわだの家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、報告や情報交換に留まらず、委員から率直な意見を多く頂いている。会議を通じて消防自治組織を作る方向性を検討するなど、モニター役を担ってもらっている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域密着型サービスの事業運営していく上での問題解決に向けて市担当者に相談して、解決している。今後担当者との関係作りを行いながら、事業所の実情やケアサービスの取り組みの連携をより図っていくよう計画している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の来訪時には、まず居室に入ってもらい利用者と家族の時間を多くとってもらう工夫をしている。隔月発行の「わだの家」通信は、ホームの出来事やお知らせ等が書かれており家族にとっては楽しみな通信となっている。又毎月家族への情報便には、その月の様子だけでなく、ケアプランについて経過報告がされている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時に、話し合う機会を積極的に設け、家族からの意見や要望を職員間で話し合い、運営に反映されている。また、ケアプランの見直し時期には、面接時間を設けて意見等聞いている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>多くの職員は、開設時からの職員であり、利用者にとってはいつも顔なじみの職員が傍にいるという安心感がある。</p>		

グループホームわだの家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員を段階的に育てる研修計画を組み、職員配置を工夫して「働きながらの学び」を実行している。介護技術の向上や利用者へのサービス向上を図るため、技術講習会への積極的な参加を実施し、全職員が共有できるよう報告の機会も作っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	飯田下伊那圏内のグループホーム連絡会に加入し、交流を行っている。その中で事例検討等の学習会を設け、職員のサービスの質の向上に活かし、事業所や地域のサービス水準の向上に繋がっている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	遠山と言う地域性が生かされ、顔なじみの環境であるが、理念にある「家族として共に助け合いながらなじみの関係と信頼を築く」を念頭に置き、利用者や家族がホームに来てもらい、安心感を持って利用開始が出来るよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	お互いに生活を共にしている事を大切にしている。遠山の昔話に花を咲かせたり、遠山の伝承文化を教えてもらったり、「おはぎはこうやって作るんだよ。」「小正月のお飾りはだんだんなくなったけど、昔はこうやって飾ったもんだ」等、利用者から生活文化の大切さを機会ある事に教えてもらっている。		

グループホームわだの家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の思いを大切に、つぶやきや仕草の中に意向を見つける努力をしている。これをセンター方式の記録用紙でまとめ、一人ひとりがその人らしく暮し続ける支援を全職員で共有している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>月1回の見直しカンファレンスで本人の様子や家族の意向などを話し合い、生活シート活用によって、チームケアを行っている。又「わだの家で目指しているもの」をテーマにして職員会で検討している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>利用者、家族の状況が変化する中、ケアプランは職員一人ひとりが担当を持ちながら、プラン作成時に共有して、現状に合うプランを立てるようにしている。急な変化には家族や職員で話し合いの上、見直しをしてニーズとサービス提供にズレがないようにしている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>かかりつけ医の受診、家族の宿泊等柔軟な対応を行っている。利用者への柔軟な対応はもとより、認知症対応のデイサービスの利用を行い、多機能性を強化している。</p>		

グループホームわだの家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月2回のかかりつけ医師の往診があり、常に職員は利用者の状態および情報を的確に把握しており、その時の話し合いや情報のやり取りを通じて、良い関係を築いている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期に備えた話し合いは、家族、職員、かかりつけ医にもアドバイスを頂いているが、最終的にはご家族の判断に委ねている。</p>		<p>ホームとしての方針があり家族との話し合いはされている。さらに、重度化や終末期に向けた対応方針を職員全体で話し合い共有する、家族の意向や話し合いの経過を文章化し、定期的に見直しを行うことが望ましい。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の尊厳を大切に、プライバシーの保護に心がけている。</p>		<p>一人ひとりの誇りを損ねるような言葉かけ等を全職員がしない事を徹底するように、日々の関り方を点検し、学習などで自己評価されていかれることを期待する。</p>
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>買い物や散歩、なじみの人との交流等、一人ひとりの思いに柔軟に対応していて、その人らしい暮らし、いい笑顔で穏やかにすごして頂けるよう努めている。</p>		<p>いい笑顔で過ごして頂けるよう職員同士で工夫されているが、さらに一人ひとりのペースを大切にすることはどうしたらよいかを学習していかれる事を期待する。</p>

グループホームわだの家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>毎日の食事の準備や片付け、四季折々の郷土料理を利用者と一緒につったりして、利用者がやってみようという意思や気持ちを上手く引き出している。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>利用者一人ひとりの希望を聞きながら、ゆったりと入浴して頂いている。ゆず湯や薬湯などを利用し、「風呂に入って気持ちよかった」という実感は表情で感じられる。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>日々の健康状態によって畑仕事、料理、片付け、洗濯物の整理等それぞれの活力を引き出す役割を担ってもらっている。また、歌、塗り絵、計算ドリル、カルタ取り等、日々の楽しみが保たれるよう支援している。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>地域の人々の理解と協力を得て外出、散歩は希望通りに出来るよう支援している。近くのスーパーへの買い物や生まれ育った古里へのドライブは楽しみの一つとなっている。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員は鍵をかける弊害を理解しており、開所当時から理念で、玄関や非常口も夜間以外は無施錠を実行している。外出しそうな利用者を見落とす事無く、そおと付いていたり、ご近所に人達には、声かけや連絡をお願いしている。利用者の笑顔を大切にしている。</p>		

グループホームわだの家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>非常火災通報装置を設置し、非常時に備えている。防災訓練は事業所だけでなく、お隣近所の人達の参加・協力を得ながら実施している。又地域の人達と、非常時の防災協定の締結を準備中である。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>毎食の食事量や水分量を把握し、一人ひとりの状態に合わせ馴染みのもの、好みのものなど美味しいものを食べる支援をしている。定期的に専門的な観点から栄養バランス等のチェックしてもらうようにしている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホームの周囲は花や野菜に囲まれ、居室やホールには季節の花が置いてあり、廊下の壁には遠山の里の伝統文化の写真が飾られ、居心地の良い雰囲気となっている。また、廊下やホールの各所には椅子を置き、2～3人の歓談や一人になれる空間が作られている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、和室と洋室とあり、居室に置かれた家具類は、本人が気に入っている物で部屋作りがされていて、思い思いのカレンダーや写真が飾られている。楽しみで創られた作品等が飾られて、自分らしい雰囲気の中で安心して過ごせる部屋となっている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。